

エコアクション21

環境経営レポート

2022年度（試行）運用版

（運用期間：2023年7月～2023年9月）



【初版】

発行日：2023年10月31日



株式会社 安武建設工業

目 次

1. 事業の概要	1
2. EA21 推進体制	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営活動	5
6. 環境経営目標の実績・評価と今後の取り組み	6
7. 具体的な取組状況	7～9
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び、訴訟等の有無	10
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	11

1. 事業の概要

(1) 事業者名

株式会社 安武建設工業
代表取締役 安武修治

(2) 所在地

本社 〒869-1208 熊本県菊池市旭志 668 番地
資材置場 〒869-1201 熊本県菊池市旭志弁利字西八迫 565-1 番地

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者
連絡担当者
連絡先 Tel.0968-37-2220 fax0968-37-3740

(4) 事業規模

資本金 金 2000 万円
社員数 15 人(内役員 3 人)
売上高 277,933 千円(3 年平均、令和 5 年 3 月経審結果)

(5) 事業内容

特定建設業 土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業

許可番号 熊本県知事許可(特-2)第 5616 号

一般建設業 建築工事
許可番号 熊本県知事許可(特-2)第 5616 号

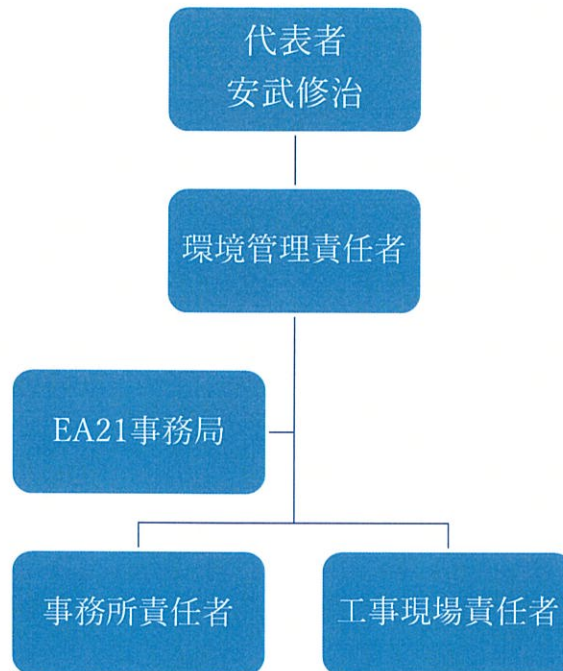
(6) 会計年度

期首 10 月 期末 9 月

(7) 認証登録範囲

株式会社安武建設工業の全組織、全活動を認証登録範囲とする。

2. EA21 推進体制



代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針の制定 ・ 環境組織の明確化、必要な資源の投入 ・ 全体の評価と見直し
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ マネジメントシステムの構築、実施、維持 ・ 目標管理票の作成と進捗管理 ・ 目標に対する実績や問題、改善の社長報告 ・ 環境コミュニケーションの総括窓口 ・ 教育・訓練の総括(緊急事態の想定、訓練含む)
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集計表作成 ・ 文書、記録作成 ・ 環境経営活動進捗の把握
事務所責任者 工事現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営活動の実施 ・ 環境管理責任者への報告 ・ 改善提案
社員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営活動の実施 ・ 改善提案

3. 環境経営方針

環境経営理念・方針

株式会社安武建設工業は、建設業に関わる事業者として土木を通じて社会貢献すると共に、積極的に環境負荷の低減と環境保全に取り組み、豊かな自然を守り維持できるよう次項の活動に取り組み、環境経営の継続的な改善に努めます。

- (1) 環境に配慮した施工の推進に取り組みます。
- (2) 省エネルギーを心掛け、CO2 排出量の削減に取り組みます。
- (3) 廃棄物発生抑制に取り組みると共に、建設リサイクル法に従い適切なりサイクルに取り組みます。
- (4) 節水により、使用量の削減に取り組みます。
- (5) グリーン購入を促進します。
- (6) 地域貢献活動を積極的に行います。
- (7) 環境関連法規制等を遵守します。
- (8) 受注工事の品質向上に努めます。

全社員に、この環境経営理念を周知し、全社員で取り組みます。

令和5年6月30日

株式会社 安武建設工業
代表取締役 安武修治

4. 環境経営目標

試行期間 2023年7月～9月

会計年度 期首：10月 期末：9月

番号	項目	2021年度	試行期間の目標		2023年度	2024年度	2025年度
		実績 (2021.10～2022.9)	基準年度実績 (2022.7～9月)	環境目標(-1%) (2023.7～9月)	環境目標 (-2%)	環境目標 (-3%)	環境目標 (-4%)
1	環境に配慮した施工	環境に配慮した施工	環境に配慮した施工	環境に配慮した施工	環境に配慮した施工	環境に配慮した施工	環境に配慮した施工
2	二酸化炭素排出量の削減(kg-CO2)	132,691	33,350	33,017	130,050	128,750	127,462
2-1	電気使用量の削減(kWh)	11,288	3,266	3,233	11,063	10,953	10,843
2-2	ガソリン使用量の削減(L)	7,122	1,617	1,601	6,980	6,910	6,841
2-3	軽油使用量の削減(L)	43,364	10,989	10,879	42,501	42,076	41,655
3	廃棄物のリサイクル推進	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進	分別活動の推進
		廃棄物の再資源化 95%	廃棄物の再資源化 95%以上	廃棄物の再資源化 95%以上	廃棄物の再資源化 95%以上	廃棄物の再資源化 95%以上	廃棄物の再資源化 95%以上
4	水使用量の削減	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進	節水活動の推進
5	グリーン購入	不明	配慮する	配慮する	配慮する	配慮する	配慮する
6	地域貢献	3回以上/年	1回以上/3か月	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年	3回以上/年
7	工事の品質向上 (平均点)	77点	—	80点以上	80点以上	80点以上	80点以上

備考) ・購入電力の二酸化炭素排出係数は 0.382 kg-CO2/kWh(九州電力(株)R3年度調整後)を使用した。

・水使用量については、井水利用でメーターがないため、節水活動を推進する。

・化学物質の使用なし。

5. 環境経営活動

項目	具体的な活動	頻度	実施状況	
			事務所	現場
1.環境に配慮した施工	①超低騒音の重機使用	適時	—	○
	②粉塵の少ない施工	適時	—	○
	③再生材料の活用	適時	—	○
	④生物多様性に配慮した施工	適時	—	○
2.二酸化炭素排出量の削減 (2-1)電気使用量の削減	①空調機の室内温度設定・実施の徹底(温度計による室温の管理)	毎日	○	—
	②空調機フィルターの定期的清掃(6月・12月)	年2回	○	—
	③日よけ、ブラインドによる室温上昇防止(夏季)	毎日	○	—
	④省エネ型空調機、照明器具に買い換える	適時	○	—
	⑤グリーンカーテンの設置	適時	○	—
(2-2)ガソリン使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、タイヤ空気圧チェック、急発進、急ブレーキをさける)	毎日	○	○
	②低燃費車を増やす	適時	○	○
(2-3)軽油使用量の削減	①社用車エコドライブの推進・徹底(アイドリングストップ、タイヤ空気圧チェック、急発進、急ブレーキをさける)	毎日	○	○
	②社用車の定期的な整備による燃費向上	適時	○	○
3.廃棄物のリサイクル化	①廃棄物の分別促進	毎日	○	○
	②リサイクル促進	毎月	○	○
	③適切な業者の選定と引渡	適時	○	○
	④マニフェスト伝票の適切な管理	適時	○	○
	⑤社内文書は裏紙を使用する	毎日	○	—
4.節水活動の推進	地下水使用。メーター未設置の為節水に努めます。 現場は川の水使用。	適時	○	○
5. グリーン購入	①環境への負荷が少ない製品の購入	適時	○	—
6. 地域貢献	①地域清掃の実施	年3回以上	○	○
7.工事の品質向上	①行程手順と天候を確認し効率的な段取りを行い工期を遵守する	適時	—	○
	②評価点結果を分析し、弱点領域を強化する	適時	—	○
	③工程毎の書類・写真管理を徹底する	適時	—	○
	④発注担当者との情報共有・コミュニケーションを積極的に行う	適時	—	○

6. 環境経営目標の実績、評価と今後の取組内容

項目	2021年度実績 (2022.7~9月)	短期目標 (2023.7~9月) (-1%)	2022年度実績 (2023.7~9月)	目標 達成率 (%) ※2	判定	評価と今後の取組み
1 環境に配慮した 施工	環境に配慮し た施工	環境に配慮した 施工	環境に配慮した 施工	—	○	<現状>取り組んでいる。 <今後>引き続き継続する。
2 二酸化炭素排出 量の削減(kg-CO2)	33,350	33,017	35,811	92%	×	<現状> 達成出来た項目と、 出来なかった項目があった。 <今後> 引き続き意識して、 全て達成出来るように取り組 んでいく。
2-1 電気使用料 の削減(kWh)※1	3,266	3,233	3,024	107%	×	
2-2 ガソリン使用量 の削減(L)	1,617	1,601	1,271	126%	○	
2-3 軽油使用料の 削減(L)	10,989	10,879	12,290	89%	×	
3 廃棄物の リサイクル化	分別活動の 推進	分別活動の 推進	分別活動の 推進	—	○	<現状>実施できた。 <今後>今後も引き続き取り 組んでいく。
	廃棄物の再資源 化95%以上	廃棄物の再資源化 95%以上	廃棄物の再資源化 95%以上	100%	○	
4 節水活動の推進	節水活動の 推進	節水活動の 推進	節水活動の 推進	—	○	<現状>節水活動と日常の漏 水の点検に努めた。 <今後>引き続き継続する。
5 グリーン購入	配慮する	配慮する	配慮した	—	○	<現状>取り組んでいる。 <今後>引き続き継続する。
6 地域貢献	1回以上/ 3ヶ月	3回以上/ 年	3回以上/ 年	100%	○	<現状>実施できた。 <今後>引き続き継続する。
7 工事の品質向上 (平均点)	—	80点以上	76点	95%	×	<現状>達成出来なかった。 <今後>目標達成に向けて努 力していく。

備考) ※1 購入電力の二酸化炭素排出係数は0.382 kg-CO2/kWh(九州電力(株)R3年度調整後)を使用した

※2 目標達成率の計算 目標÷実績×100(削減目標の場合)、実績÷目標×100(増加目標の場合)

7. 具体的な取組状況

二酸化炭素排出量の削減・ 設定温度(冷房28℃暖房20℃)・節電ステッカー・省エネエアコン設置



グリーンカーテン設置(ネット取付、苗植え)



簾の設置



水使用量の削減・・・

節水ステッカー

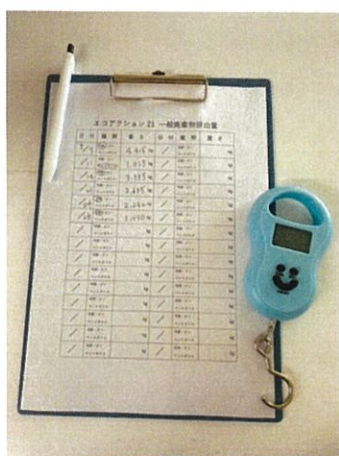


分別活動の推進・・・ 燃えるゴミ・ビン缶・プラスチック・埋立ゴミ・ペットボトル分別



一般ゴミの計量測定

環境上の緊急事態の想定及び訓練<油流出事故>



社会貢献活動の推進

地域のボランティア活動を積極的に実施



社内文書の裏紙の使用

エコアクションへの取り組みの掲示



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び、訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される主な環境関連法規等は、以下の通りです。

- ・環境法規制の遵守活動を行い、その遵守状況の評価を行った結果、環境法規制への違反はありませんでした。
- ・環境法規制の遵守活動を通して、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

適用される法規等	適用される事項(施設・物資・活動等)	評価
棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理、定期報告	○
建設リサイクル法	一定規模以上建築4品目の分別解体と再資源化	○
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	○
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	○
フロン排出規制法	廃棄時の適正処理(発生時のみ) 自主点検の実施	○
浄化槽法	設置の届け出 法定点検の実施	○

備考) 評価区分 ○: 遵守 ×: 不遵守 -: 該当なし

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21活動の対象期間(2023年7月～2023年9月)について代表者による全体評価と見直しを2023年10月20日に実施しました。

エコアクション21の活動に取り組み、改めて環境の為に出来る事として、ICT施工や、使用車両、使用重機を負荷の掛からないものに随時更新する等、CO2削減の為考慮し、各現場においても環境活動の取組みに対する意識の向上を心掛け、引き続き取り組んでいきます。

変更の必要性と指示(代表者)

	変更の必要性 (有、無)	指示事項
環境経営システム	無	社内全体で周知し引き続き取り組む
環境経営方針	無	環境経営方針を周知させ、継続する
環境経営目標及び環境経営計画	無	全て達成出来るよう引き続き取り組む
実施体制	無	現状のまま継続する
その他		